

政策体系	政策No.	4	政策名	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)	施策幹事課	スポーツ・文化振興課			
	施策No.	3	施策名	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進	施策幹事課長名	上小園 拓也			
施策関係課名		市民活動推進課、社会教育課							
1 基本計画期間(2018年度～2022年度)における施策の方針									
<p>優れた芸術文化に触れることができるよう、多様なジャンルの芸術文化を楽しむことのできる機会を提供するとともに、積極的な情報発信に努めます。</p> <p>また、市民の主体的な芸術文化活動の促進と活動の裾野の拡大を図るため、団体の育成・支援を行うとともに、団体間の相互交流を推進します。さらに、子どもたちの芸術文化に対する興味・関心の高揚や豊かな心の醸成を図るため、芸術文化に親しむ機会を積極的に提供します。</p>									
2 施策の成果把握									
①成果指標（意図の達成度を表す指標）		◎目標達成(100%以上) △目標を未達成(100%未満)					目標達成の方向性		
		単位	区分	2018年度	2019年度	2020年度		2021年度	2022年度
A	芸術文化に親しんでいる市民の割合	%	成り行き値	53.4	53.3	53.2	53.1	53.0	更なる増加を目指します
			目標値	53.6	53.8	54.0	54.2	54.3	
			実績値						
			達成率						
			結果						
B	芸術文化に触れ親しむ環境が整っていると感じる市民の割合	%	成り行き値	30.4	30.3	30.2	30.1	30.0	更なる増加を目指します
			目標値	30.6	30.8	31.0	31.2	31.4	
			実績値						
			達成率						
			結果						
C	芸術文化事業の実践者及び鑑賞者の人数	人	成り行き値	100,800	100,600	100,400	100,200	100,000	更なる増加を目指します
			目標値	106,000	109,000	112,000	115,000	118,000	
			実績値	99,154	91,424	40,747			
			達成率	94%	84%	36%			
			結果	△	△	△			
D	芸術文化団体に所属している人数	人	成り行き値	2,950	2,930	2,910	2,890	2,870	更なる増加を目指します
			目標値	3,200	3,300	3,400	3,500	3,600	
			実績値	2,457	2,423	2,540			
			達成率	77%	73%	75%			
			結果	△	△	△			
E	霧島市民会館来館者数	人	成り行き値	65,244	65,904	66,564	67,224	67,884	更なる増加を目指します
			目標値	66,500	67,800	69,100	70,500	71,900	
			実績値	61,300	53,690	21,898			
			達成率	92%	79%	32%			
			結果	△	△	△			
② 成果指標の測定方法（実際にどのように実績を把握するか）				③ 2022年度の目標値設定の考え方					
A 芸術文化に親しんでいる市民の割合 ※市民意識調査				A 芸術文化団体等と連携し、身近な場所で芸術文化を鑑賞・体験できる機会を提供することや積極的な情報発信により、2017(平成29)年度の現状値53.4%から2022(令和4)年度54.3%を目指す。					
B 芸術文化に触れ親しむ環境が整っていると感じる市民の割合 ※市民意識調査				B 関係機関と連携し、市民ニーズを踏まえた音楽・演劇等のイベントの開催や優れた芸術に触れる機会の創出等により、2016(平成28)年度の現状値30.4%から2022(令和4)年度31.4%を目指す。					
C 芸術文化事業の実践者及び鑑賞者の人数 ※芸術文化団体(文化協会、少年少女合唱団、神楽振興会等)での活動延人数及び霧島国際音楽祭、美術展、写真展等の鑑賞者数				C 芸術文化団体等の活動が積極的に行われるよう必要な支援を行うと共に、芸術文化団体等と連携し、発表内容の充実を図ることや積極的なPRに努めることで、現状値101,831人から2022(令和4)年度118,000人を目指す。					
D 芸術文化団体に所属している人数 ※文化協会等に所属している会員数				D 芸術文化団体等と連携し、市民に興味を持ってもらう取り組みとして、具体的な活動の情報発信やPR活動等による加入促進に努め、2016(平成28)年度現状値2,992人から2022(令和4)年度3,600人を目指す。					
E 霧島市民会館来館者数 ※芸術鑑賞等により市民会館を利用した人数				E 指定管理者と連携し、自主文化事業のあり方や公演メニュー等、多様化するニーズの変化に対応した取り組みを行い、2016(平成28)年度の現状値63,924人から2022(令和4)年度71,900人を目指す。					
				F					

3 基本計画期間で解決すべき施策の課題(総合計画より)

本市では、国内でも屈指の音楽祭である「霧島国際音楽祭」や世界を舞台とする「劇団四季」の公演など優れた芸術文化のイベントが開催されるとともに、市民参加型のミュージカル等の新たな文化の創造や食文化等の継承による次世代育成が行われています。

芸術文化は、鑑賞、体験のみならず日々の生活の中に存在するものであり、市民がそれぞれの感性で楽しむことができるよう、身近に触れ親しむ機会を創出し、芸術文化への意識の底上げを図っていく必要があります。

なお、市の芸術文化活動の中心組織の一つである霧島市文化協会は、各地域において、文化祭をはじめとした活動を展開していますが、少子高齢化の進行により会員数が減少するなど、後継者の育成が大きな課題となっています。

一方、市内には、組織としての形態をとらずに芸術文化活動を行っている個人や団体も多数存在することから、今後、その把握に努め、相互交流・連携を推進し、芸術文化を支える人材の育成を図りながら、まちづくりへの活用等にも積極的に取り組む必要があります。

また、本市の芸術文化活動の拠点として最も重要な施設である霧島市民会館は、建築後50年を超えており、建物本体・設備等で改修や更新の時期を迎えているものもあることから、今後のあり方について検討する必要があります。

4 施策の現状

①2020年度施策の取組方針	②2020年度の取組方針の達成状況
<ul style="list-style-type: none">■市民会館の運営や各種事業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、国が示した「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づいて適切に対応する。■子どもたちの芸術文化に対する興味や関心を高めるために、小・中学生を対象とした児童生徒芸術鑑賞会等を行う。■市民会館の指定管理者が実施する自主文化事業等を通じて、市民が芸術文化に触れる機会の創出に努める。■芸術文化団体等の活動に対して必要な支援を行う。■2021(令和3)年度に本市で開催される地域伝統芸能全国大会かごしま大会に向け、必要な準備を行う。■市民会館のあり方について庁内検討委員会で協議し、一定の方向性をまとめる。	<ul style="list-style-type: none">■サーモグラフィの設置や観客席の入場者数を50%に制限するなど、新型コロナウイルス感染予防のガイドラインに基づいた対策を行い、適切に対応した。■小・中学生を対象に青少年劇場や生徒芸術鑑賞会、文化庁巡回公演、青少年のための芸術鑑賞事業を実施し、良質な芸術文化に触れる機会を提供できた。■市民会館指定管理者による自主文化事業として4つのプログラムを実施したが、新型コロナウイルスの影響により入場者は減少した。■芸術文化に取り組む団体に対し運営補助を行ったが、新型コロナウイルスの影響により中止や変更となった。■地域伝統芸能全国大会開催に向け、関係各課、団体、事業者等と事務協議、調整を行うことができた。■庁内検討委員会を開催し、今後の方向性をまとめた。
5 2021年度施策の取組方針	6 2022年度施策の取組方針
<ul style="list-style-type: none">■子どもたちの芸術文化に対する興味や関心を高めるために、小・中学生を対象とした児童生徒芸術鑑賞会等を行う。■市民会館の指定管理者が実施する自主文化事業等を通じて、市民が芸術文化に触れる機会の創出に努める。■芸術文化団体等の活動に対して必要な支援を行う。■10月に開催される地域伝統芸能全国大会に向け、必要な準備及び運営を行う。■市民会館のあり方を検討した結果に基づき、予算要求等、必要な対応を行う。	<ul style="list-style-type: none">■子どもたちの芸術文化に対する興味や関心を高めるために、小・中学生を対象とした児童生徒芸術鑑賞会等を行う。■市民会館の指定管理者が実施する自主文化事業等を通じて、市民が芸術文化に触れる機会の創出に努める。■芸術文化団体等の活動に対して必要な支援を行う。■市民会館のあり方を検討した結果に基づき、予算要求等、必要な対応を行う。

政策体系	政策No.	4	基本事業名	芸術文化に触れ親しむ機会の充実	基本事業 主担当課	スポーツ・文化振興 課
	施策No.	3				
	基本事業No.	1				

1 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。
また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。

2 基本事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

- 国内でも屈指の音楽祭である「霧島国際音楽祭」が、2020(令和元)年に1980(昭和55)年の初開催から40周年の節目を迎えた。
- 2021(令和3)年に地域伝統芸能全国大会が鹿児島県で開催される。
- コロナ禍において従来の参加型のイベントではなく、ウェブ等を活用した公演など、芸術文化の普及、啓発のあり方が多様化している。

3 2020年度基本事業の取組方針

- 市民会館の運営や各種事業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、国が示した「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づいて適切に対応する。
- 子どもたちの芸術文化に対する興味や関心を高めるために、小・中学生を対象とした児童生徒芸術鑑賞会等を行う。
- 市民ニーズに対応した芸術文化に触れる機会を創るため、市民会館の指定管理者と連携して自主文化事業等を実施するとともに、参加者を増やすためにケーブルテレビやコミュニティエフエム等、各種メディアなどを活用して情報発信に努める。
- 市民会館のあり方について庁内検討委員会で協議し、一定の方向性をまとめる。

4 2020年度の取組達成状況

- 新型コロナウイルス感染予防のガイドラインに基づき、入場時の検温による密を防ぐためのサーモグラフィー設置、観客席の50%制限、公演時における扉の開放など、各種対策を行った。
- 小中学生を対象に青少年劇場(12校)や生徒芸術鑑賞会(5校)、文化庁巡回公演(4校)、青少年のための芸術鑑賞事業(1校)を実施し延べ2,500人が鑑賞できた。
- 市民会館の自主文化事業を4プログラム実施し、各種媒体を通じて周知したが、新型コロナウイルスの影響により入場者は昨年度よりも減少した。
- 市民会館の今後のあり方について庁内検討委員会を2回開催し、今後の方向性をまとめた。

5 2021年度基本事業の取組方針

- 子どもたちの芸術文化に対する興味や関心を高めるために、小・中学生を対象とした児童生徒芸術鑑賞会等を行う。
- 市民ニーズに対応した芸術文化に触れる機会を創るため、市民会館の指定管理者と連携して自主文化事業等を実施するとともに、参加者を増やすためにケーブルテレビやコミュニティエフエム等、各種メディアなどを活用して情報発信に努める。
- 市民会館のあり方を検討した結果に基づき、予算要求等、必要な対応を行う。
- 10月に開催される地域伝統芸能全国大会に向け、必要な準備及び運営を行う。

6 2022年度基本事業の取組方針

- 子どもたちの芸術文化に対する興味や関心を高めるために、小・中学生を対象とした児童生徒芸術鑑賞会等を行う。
- 市民ニーズに対応した芸術文化に触れる機会を創るため、市民会館の指定管理者と連携して自主文化事業等を実施するとともに、参加者を増やすためにケーブルテレビやコミュニティエフエム等、各種メディアなどを活用して情報発信に努める。
- 市民会館のあり方を検討した結果に基づき、予算要求等、必要な対応を行う。

政策体系	政策No.	4	基本事業名	芸術文化活動を実践する市民及び団体への支援	基本事業 主担当課	スポーツ・文化振興 課
	施策No.	3				
	基本事業No.	2				

1 基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

市民の自主的な芸術・文化活動により、多くの市民が芸術文化に親しめる機会が増えるよう、市民活動の支援に取り組みます。
また、市文化協会や関係団体など、積極的に活動する芸術文化団体への支援や団体相互の交流の推進により、活動の活性化を図るとともに、芸術文化を支える人材の育成に努めます。

2 基本事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

- 霧島市文化協会は、少子高齢化により団体数、会員数ともに減少傾向にある。
- 市内には、新たな芸術文化活動を行っている団体は存在するものの、把握は難しい状況である。

3 2020年度基本事業の取組方針

- 多くの市民が芸術文化に親しめる機会を増やすため、芸術文化に取り組む団体等の活動支援を継続する。
- 市内における芸術文化活動をさらに活性化させるために、芸術文化活動に取り組んでいる市内の団体やグループ等の把握に努め、団体相互の交流を推進する。

4 2020年度の取組達成状況

- 芸術文化に取り組む団体に対し運営補助を行ったが、新型コロナウイルスの影響により計画していた活動が中止や内容変更等を余儀なくされた。
- 新型コロナウイルスによる活動自粛やイベントの中止等のため、活動団体の把握や相互交流を図る事業を推進することができなかった。

5 2021年度基本事業の取組方針

- 多くの市民が芸術文化に親しめる機会を増やすため、芸術文化に取り組む団体等の活動支援を継続する。
- 市内における芸術文化活動をさらに活性化させるために、芸術文化活動に取り組んでいる市内の団体やグループ等の把握に努め、団体相互の交流を推進する。

6 2022年度基本事業の取組方針

- 多くの市民が芸術文化に親しめる機会を増やすため、芸術文化に取り組む団体等の活動支援を継続する。
- 市内における芸術文化活動をさらに活性化させるために、芸術文化活動に取り組んでいる市内の団体やグループ等の把握に努め、団体相互の交流を推進する。